

影響度レベル :

(影響度の自己評価：)

レベル0～2： 所属長へ口頭報告後このレポートを提出

レベル3～5： 院長・所属長へ口頭報告後このレポートを提出

発生日時		年 月 日 () 時 分頃		書類提出日		年 月 日 ()		
報告者情報	氏名			職種	医師 看護師 薬剤師 放射線技師 リハビリスタッフ 事務 栄養士 調理員 看護補助 その他()			
	事故との関連性	当事者 発見者 患者本人から訴え 他の患者から訴え 患者家族から訴え その他 ()						
	経験年数	1年未満	1～3年未満		3～5年未満	5～10年	10年以上 () 年	
	入職年数	1年未満	1～3年未満		3～5年未満	5～10年	10年以上 () 年	
患者情報	氏 名			性別	男 女		年齢	歳
				ID				
	病 名			認知症の有無			有 無	
発生場所		外来診察室 中待合 外待合 受付 事務所 X-P 室 CT 室 MRI 室 病室 ナースステーション 薬局 調理場 食堂 廊下 トイレ 階段 浴室 院外 その他の場所 ()						
口頭報告		レベル 3～5 院長への報告		年 月 日 ()		時 分頃		
		レベル 0～5 所属長への報告		年 月 日 ()		時 分頃		
状態変化・説明		事故などによる患者の状態変化			あり なし			
		患者への説明			あり なし			
		家族への説明			あり なし			
発生の状況と直後の対応（詳細に記入）								
今後の対策（箇条書きで記入）								
評価（コメント） 継続 再検討 再評価								

内容 ⇒ 関連するところに☑をする。

転倒・転落	転倒 ⇒ 外傷なし	転落 擦過創	すべり落ち 表皮剥離	自力歩行 打撲	杖歩行 骨折	車椅子 その他()	ストレッチャー
外傷 (転倒・転落以外)	熱傷 入浴中 排泄時	擦過傷 体交中 機械・器具操作による外傷	表皮剥離 オムツ交換時	打撲 処置中(注射・点滴) 検査・手技時	骨折 自傷行為 移動時	その他()	
点滴 輸液ルート チューブ カテーテル	中心静脈栄養 ⇒ 自己抜去 三方活栓の方向間違い	点滴 自然抜去	胃管 血管外へ漏れ	気管チューブ 漏れ	胃瘻チューブ 固定位置ずれ	胸腔ドレーン 接続のゆるみ	その他()
薬剤	注射薬・点滴 ⇒ 患者間違い ⇒ 投与方法	内服 薬剤間違い 未投与	外用薬 投与量	麻薬 投与時間	座薬 投与速度	血液製剤 調剤 監査 その他:	オーダー
食事	指示と食事内容の違い 患者間違い 異物混入 誤嚥・誤飲 その他:						
検査・処置	患者間違い 検体の採り間違い 未採取 不適切な前処置 その他:						
放射線	患者間違い 部位間違い 撮影条件間違い マーカー間違い その他()						
リハビリ	患者間違い 伝達連携ミス 設定条件間違い 評価ミス その他()						
医療機器	医療機器・器具名・その他() ⇒ 患者情報入力ミス 操作ミス 故障・不具合 破損 電源の切り忘れ						
事務・接遇	待ち時間に対する不満 検査・治療に対する不満 医療費に対する不満 処方内容の相違 処方箋の誤り 検査・治療の拒否 会計の誤り 電話対応への不満・伝達ミス 保険証・マイナンバーカード 接遇に対しての不満 施設設備・環境に対する不満 患者間トラブル その他()						
その他	病室に不在 病院から無断外出 予期せぬ急変 不審者 施錠忘れ 盗難 破損(医療器械・器具以外) 紛失 自殺 自然災害 在庫不足 発注ミス カルテ・その他の書類記入漏れ						

発生・発見の要因 ⇒ 関連する箇所に☑をする。(複数可)

不適切な指示	口頭指示 検査伝票・指示ラベル・処方箋の誤記 その他()
無確認	検査伝票・指示ラベル・処方箋で確認せず 思い込み・勘違い 疑問に思ったが確認せず ダブルチェックせず 正しい確認方法を知らなかった その他() 機械・器具の操作方法を確認しなかった 患者情報を確認しなかった
指示の見落とし	指示の見落とし 指示の見誤り その他()
経験不足・患者観察の不足	経験不足 患者観察不足 ⇒ 処置・検査・手技中または直前直後 投薬・点滴中または直前直後 入浴介助中または直前直後 食事介助中または直前直後
説明・知識の不足	説明不足 業務に対する知識不足 業務に対する技術力不足 その他()

マニュアルとの関連

手順に関して	不慣れ・不手際 正しい手順に従っていなかった 手順がなかった 手順に従っていた その他()
--------	---